教えて！ ドクター

乳がん検診での要精密検査

マンモグラフィ検診で要精査が届いたら速やかに専門施設を受診してください

お答えいただいたのは…

君島乳腺クリニック
院長　君島伊造先生

昭和28年、福島市生まれ。同53年、福島県立医科大学を卒業後、同大学第２外科入局。昭和62年、同科 乳腺グループチーフ、以降、乳がんの臨床、研究に従事。北福島医療センターを経て、令和４年に「君島乳腺クリニック」を開院。

検診の時期になると、「要精密検査（以下、要精査）」の検診結果が届いて受診される方が多数おられます。要精査になる率はマンモグラフィ検診受診者の数％です。

要精査になる異常所見として代表的なものに、「局所的非対称」がありますので、これを例に、それが生じる理由や、精密検査の進め方について簡単に説明します。

「局所的非対称」はあまりなじみのない言葉ですね。マンモグラフィの読影は、「左右対称」であることを基本として読んでいきます。そこで、左右の乳腺の写り方が部分的に異なる箇所があれば、「局所的非対称」と判定し、「要精査」として通知するのです。どの程度を異常と判定するかは、判定医によって多少の違いがあります。しかし、この結果を受けて精密検査（超音波検査など）をしても、むしろ異常がないことが多いのです。

正常乳腺が腫瘍のように写る場合も

病変がないのに、マンモグラフィでこのような異常所見が生じる理由ですが、正常乳腺の構造は複雑で、コラーゲン蛋白（たんぱく）を中心とした基質部分（白く写る）と脂肪組織（黒く写る）がさまざまに混在しています。そして、検診の度に全く同じには撮影できないので、正常乳腺の写り方も毎回少しずつ異なります。もし、乳腺の一部分がある程度白く写り、腫瘍（白く写る）との区別が難しい場合があれば、「要精査」の判定になるのです。

超音波検査は重なりのない断層画像なので、腫瘍があればよく分かります。必要なら、そこから針で細胞や組織の一部を取って調べることも出来ます。これらの検査で乳がんの疑いがあれば、専門施設に紹介します。

今回、局所的非対称を例に述べましたが、「要精査」と判定する理由は、他にもいろいろあり、がんを疑う程度もさまざまです。診断をはっきりさせる必要があるので、速やかに専門施設を受診しましょう。

君島乳腺クリニック
KIMIJIMA BREAST CLINIC

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30（受付12:00まで）	●	●	／	●	●	●
14:00~17:30（受付16:30まで）	●	●	／	●	●	／

休診日：水曜・日曜・祝日

乳腺専門医
院長 君島伊造
診療科目 乳腺外科
君島乳腺クリニック 検索

上記の詳しい内容はこちらからも読めます！

電話でご予約ください
〒960-8114 福島市松浪町 2-8
TEL024-528-8511